令和5年度予算

統合小学校整備 事業はじまる!!

あらまし

令和5年第2回定例会は3月7日から3月20日まで開催されました。町長から提出された議案は、令和4年度補正予算10件、令和5年度当初予算12件、条例の制定及び一部改正が7件、指定管理者の指定7件、損害賠償及び和解が1件、契約の一部変更が1件であり、すべて原案のとおり、可決しました。

また、人権擁護委員候補者の推薦に係る案件1件についても、異議のない旨答申することに決定しました。

委員会提出議案、議員提出議案各1件についても、可決されました。

一般質問は6人の議員が行いました。

開会直後、佐瀬真議員から議員辞職願が提出され、異議なく許可しました。

【一般会計予算の概要】

総額は93億8200万円

前年度比7億8200万円の増額

歳入は、自主財源の根幹である町税の確保がなお厳しい状況だが、徴収率向上に努め、負担の公平性を図る。

歳出は、統合中学校屋内運動場建設工事及び少子高齢化に伴う義務的経費の増加が見込まれる。内部管理経費の節減や事務事業の効率的な執行に努め、臨時的経費も事業の効果と緊急性を最重点に選別し、事業費の圧縮を図った。

令和5年度末の町債現在額は、前年度比約1億100万円減の約86億1800万円を見込んでおり、今後も安定した財政基盤を確保し、可能な限り起債額を抑制する。

【主な予算】

『歳入』

町税2.1%増!

物価高の影響もあり厳しい状況にあるが、コロナ禍の影響は徐々に和らぎ、観光業等において緩やかな持ち直しが見られる。固定資産税は太陽光発電設備の償却資産の課税標準額に増額が見込まれる。

町債発行は予算総額の10%以内!

中学校新屋内運動場やグラウンド整備事業で約3億円を発行。前年度比で6300万円増の9億1900万円を計上。

『歳出』

町道の維持関連事業に1億3300万円

町道側溝改修工事、舗装維持補修工事ほか。

こども園の運営費に1億3000万円

2園の保育に要する経費、施設の維持管理、給食調理業務・通園用バス運行管理業務委託ほか。

教育旅行支援事業に3300万円

県外学校向けバス助成。

商工業金融対策事業に1億4900万円

制度資金貸付、利子及び信用保証料の補給。

農業の担い手づくり総合支援事業に1600万円

地域おこし協力隊活動事業に3100万円

移住・定住、地域活性化、農産物6次化・ブランド化、有害鳥獣対策、観光振興、集落営農・地域づくり支援の隊員8名の活動費(人件費を含む)。

町営住宅改修工事に2600万円

桜ケ丘住宅9号棟長寿命化工事、上ノ上集会所外壁改修工事。

陸上競技場3種改修工事に6100万円

3種改修工事、3種公認陸上競技備品購入。

統合中学校屋内運動場建設工事等7億9100万円

体育館(建築・解体・電気設備・機械設備)、グラウンド整備・駐車場照明工事ほか。

統合小学校整備事業1億7100万円

猪苗代小・千里小改修工事、吾妻小給食室改修工事、スクールバス・給食配送車等購入費ほか。

令和4年度一般会計補正予算
令和5年度一般会計予算

反対討論!

【五十嵐 ミエ子】

国の定める学校規模適正化にたよらず、多様性とふるさとの良さを尊重する学校教育を維持していただきたいので、統合小学校事業の予算案には反対。

※予算にかかる主な質疑については、4ページからの『予算審査特別委員会』をご覧ください。

議員提出議案

議会議員定数削減へ!

「猪苗代町議会議員定数条例の一部改正」

提案者　後藤　公男
賛成者　佐藤　英一郎

◎議員定数 15名 ➡ 14名

※次の一般選挙(任期満了などの全員を選ぶ選挙)から施行

提案理由

現在、我が国では少子高齢化により特に地方の人口減少が急速に進む中で、少子化対策や地域活性化対策が急務となっており、本町においても同様な傾向にある。町の経済状況は、主な産業である農業や観光業において、コロナ禍の影響や肥料、燃料の高騰により所得減少が大きな問題となっており、さらには町民生活も物価高騰によって深刻な状況となっている。

現在の議員定数は、平成28年に15名となったが、以来、猪苗代町の人口はおおよそ二千人減少している。

また本議会では議員定数が奇数であり、採決の際に可否同数の場合には議長採決となってしまうため、議員定数を偶数とすべきである。

併せて、県内近隣市町村議会においても定数削減が行われている現状であり、こうしたことから本町においても定数削減は避けて通れない。

以上の理由から提案するものである。

賛成多数で可決

反対討論!

【佐藤 悦夫】

可否同数の場合、議長が裁決に入ることは定めにあるので削減すべきではない。こういう時期だからこそしっかりとやっていくべきである。

【五十嵐 ミエ子】

機械的な削減ではなく、住民の多様なニーズや意志を正確に反映できるだけの議員数を確保すべきであり、質的向上を図ることが大切であるため反対。

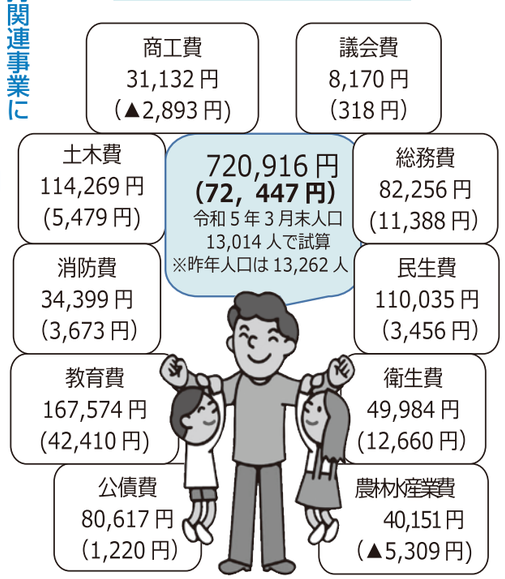
【審議した議案と可決状況】

件名	1 鈴木 元	2 大高佐代美	4 渡部 一登	5 星野あけみ	6 瀧田 勝昭	7 佐藤 悦夫	9 佐藤英一郎	10 金本久美子	11 五十嵐ミエ子	12 後藤 公男	13 関沢 和人	14 長澤 操	15 渡辺真一郎	結果
令和4年度一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	○	○	議	可決
令和5年度一般会計予算	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	○	○	議	可決
猪苗代町議会議員定数条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	欠	×	○	○	×	○	○	○	議	可決

上記以外の議案については全会一致で可決しました。

※賛成:「○」、反対:「×」、議長「議」、欠席:「欠」、除斥:「除」、棄権「棄」、議場に不在「ー」同数の場合には議長が採決に加わる。

町民一人当たりの主な使い道(一般会計)



※(　　)は昨年度対比